

第2学年国語科学習指導案

平成16年10月29日 5校時
釜石市立鶴住居小学校2年1組教室
2年1組 男15名 女15名 計30名
指導者 千葉 寿 恵

1 単元名 「だいじなところに気をつけて読もう」
サンゴの海の生きものたち

2 単元の目標

<関心・意欲・態度>

・生き物たちの暮らしに興味をもち、楽しんで読もうとしている。

<話すこと・聞くこと>

・生き物について書かれた読み物を読んで、わかったことを発表することができる。(ア)

<書くこと>

・登場した生き物になって、かかわり合っている相手にお礼の手紙を書くことができる。
(ア)

<読むこと>

・生き物のかかわり方について、説明の順序に気をつけながら、読むことができる。(イ)

<言語事項>

・敬体で書かれた文章の文末表現に気をつけて読むことができる。(オ(ア))

3 単元の指導計画

学習時間12時間(書く5、読む6、言語1)

時	主な学習内容	評価規準
1	○ 海の中の生き物に関心を持ち、学習計画を立てる。 ・ 題名や写真から海や海の生き物の様子について想像する。 ・ 全文を読んで初めて知ったことや不思議に思ったことを書く。	・ 海に行った経験や写真などをもとに、海や海の生き物の様子を想像している(関心・意欲・態度) ・ 初めて知ったこと、不思議に思ったこと、見てみたいと思った生き物についてなどの感想を書いている。(読む)

2	○ P74を読んで学習のめあてを確認し形式段落に分け、写真や出てくる生き物をもとに4つの意味段落に分けて課題を作る。	・ 見つけたことや思ったことを発表し、学習課題を立てている。(読む)
3	○ イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読みとる ・ イソギンチャクとクマノミの体の仕組みについて読みとる。 ・ 2つの生き物のかかわり合いを読みとる。	<p><3～6時の評価規準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物の様子やかかわり合いについて興味をもって読もうとしている。 (関心・意欲・態度) ・ それぞれの生き物の特徴やかかわり合いを正しく読みとっている。(読む) ・ 文末表現に着目し、文や文章の中における指示語や接続語の役割と使い方を理解している。(言語)
4	○ イソギンチャクとクマノミのかかわり合いについてまとめ、感想を発表しあう。	
5 (構)	○ ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読みとる。 ・ ホンソメワケベラの特徴とそうじの様子について読みとる。 ・ ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いを読みとる。	
6	○ ホンソメワケベラと大きな魚のかかわり合いについてまとめ、感想を発表しあう。	
7 8	○ サンゴの海の生き物たちの2つの事例について振り返り、かかわり合っている相手にお礼の手紙を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生物どうしの共生関係を読みとっている。(読む) ・ 相手に何をしてもらい、どんなよいことがあるか具体的に書いている。(書く)
9 10 11	○ 生き物について書かれた本を読んで感想をまとめ、発表する。 ・ 生き物についての本を読む。 ・ 本を読んでわかったことや感想をまとめる。 ・ わかったことおもしろかったことなどをグループで発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで生き物に関する本を選び読んでいる。(関心・意欲・態度) ・ 友だちにわかるように簡単な文の組み立てを考えながら書いている。(書く) ・ 友だちにわかるように話したり、友だちの発表を静かに聞いたりしている。(話す・聞く)
12	○ ことばの学習をする。	・ 新出漢字やことばのきまりについて正しく理解している。(言語)

4 単元について

(1) 教材について

「サンゴの海の生き物たち」は、日頃なじみ深いとはいえない海の中の生き物の共生について述べている説明的文章である。生き物のかかわり方について「不思議だな」「見てみたいな」「そうだったのか」などの感想をもち、説明の順序をたどりながら、大事なところに気をつけて読むことをねらった教材である。教材文と共に鮮明な写真が使われているのも、書かれている情報を十分に補い、学習活動を進める上で大いに役立ち、読み手の好奇心を引きつけていく。大きさや色、動き等を表すことばに着目させながら、写真などを手がかりに読むことを楽しめるよう配慮したい。

一学期の「たんぼぼのちえ」では、疑問に答える形の説明文の学習をしてきた。本教材では、文章のはじめに「どんな生き物がどんなかかわり合いをしているのでしょうか。」とある。これを課題文として、生き物の違いに応じた共生の方法を順序立てて説明した文章を、接続語の使い方や文末表現に気をつけながら大事なところをさがして、読みとっていくことは、説明的な文章で読む際の基礎的な力を養っていくものであると思われる。

(2) 児童について

子どもたちは、読み聞かせや読書を好み、朝読書や空き時間などに図書室や学級文庫の本をじっくり読めるようになってきている。2学期に入って学習した「お手紙」では、自分の思いを登場人物の気持ちに重ねて、場面の様子などについて想像を広げて読む活動をした。しかし、科学的な説明文を分析的に読み進めていくという経験はまだ浅い。生き物に関する本や図鑑に慣れ親しんでいる子も多いとはいえない。

一学期の「たんぼぼのちえ」では時間的な順序に気をつけて読むことを学習してきている。レディネステストの結果を見ると、接続語の使い方については、ほとんどの子どもが正しくできていた。しかし、文末表現に注意しながら、事象と理由の説明を正しく読みとめることは70～86%とまだ十分とはいえない。そこで本単元では、指示語や接続語、文末表現などに着目させて、事象と理由を区別したり、説明の順序を意識したりできるようにしていきたい。

NRTの結果は、話すこと、聞くことが全国比116、書くこと129、読むこと165、言語事項118であり、読むことが比較的高い。

知能との関連を見ると、オーバーアチーバー17名(57%)、バランスドアチーバー13名(43%)、アンダーアチーバー0名となっている。

○レディネステストの結果

番号	問題内容	正答率 (%)
1	① 漢字の読み 海	100
	② 色	100
	魚	100
	③ 食べる	100
	④ 自分	97
	⑤ 青色	100
	⑥ 体	93
	口	100
	中	100
	⑦ 知っている	83
2	① 接続語 でも	100
	② だから	97
3	様子 ①	86
	様子 ②	70
	わけ	70

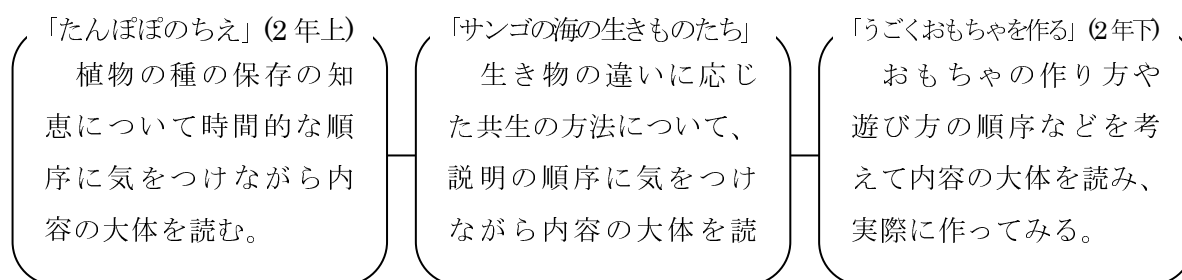
○P1テストの結果

番号	問題内容	正答率 (%)
1	① 漢字の読み 細長い	27
	② しょく手	13
	③ 明るい	63
	④ 黒い	67
	⑤ せつ明	37
	⑥ さい後	37
2	① 接続語 でも	63
	② だから	73
3	① 意味の通じる文を作る 近づいてくると追い払う	67
	② ねばねばしたえきでおおわれている	57
	③ たがいにまもり合う	70
4	様子	67

(3) 指導について

写真を使って、「サンゴの海の生きものたち」についてのイメージをもたせ、学習への興味関心を高めたい。そして、本文の二つの事例において「かかわり合う」というキーワードに着目させながら、それぞれの生き物が「どんな様子」をしていて、「どんなことをする」のか読みとっていく。また、書かれている内容を具体的に理解させるために役割を分担して動作化させたり、生き物になったつもりで書く活動を取り入れたりして学習を進めていく。さらに図書館の本や図鑑を読んで生き物について調べ、おもしろかったことや初めて知ったことを書いて紹介する活動をさせたい。

5 教材の関連と発展



6 本時の指導

(1) 本時の目標

< 関心・意欲・態度 >

生き物の体の仕組みやかかわり合いに興味をもって読もうとしている。

< 読むこと >

ホンソメワケベラと大きな魚がどんなかかわり合いをしているか読みとることができる。

(2) 本時の展開

過程	学習活動	教師の主な発問と指示	予想される児童の反応	・支援 ☆評価
つかむ	1 前時の学習を想起する。	・前の時間に学習したイソギンチャクとクマノミはどんなかかわり合いをしていましたか。	・イソギンチャクとクマノミはお互いに守りあっていることです。	・前時の学習内容を想起させ、本時で学習する段階と課題をとらえさせる。
	2 本時の学習課題を把握する。	今日の課題を読みましよう。		

		ホンソメワケベラと大きな魚はどんなか かわり合いをしているのか読みとろう。		
(7)	3 学習範囲の音読	各自読み→指名読み	各自読み→指名読み	
(10)	4 ホンソメワケベラの特徴をとらえる。	・ホンソメワケベラはどんな魚ですか。	・明るい青色の体 ・黒いすじがある ・長さ十二センチメートル	・写真を用いてホンソメワケベラの様子を視覚的にとらえられるようにする。
	5 なぜ、ホンソメワケベラは大きな魚に食べられないのかわかる場所にサイドラインを引いてワークシートに視写する。	・ホンソメワケベラが大きな魚に食べられないのはなぜか、わかったところに線を引いて、ワークシートに視写しましょう。	・教科書にサイドラインを引く。 ・ワークシートに視写する。	・線を引けない子には「～からです。」などの文末表現に着目して理由を探せるように助言する。 ☆サイドラインを引き、ワークシートに視写することができたか。 (教科書、ワークシート)
(15)	6 ホンソメワケベラと大きな魚のかわり合いについて話し合う。	・なぜホンソメワケベラは大きな魚に食べられないのでしょうか。 ・ホンソメワケベラにとっていいことは何ですか。	・ホンソメワケベラが体や口の中についた虫をそうじしてくれるのを知っているから。 ・大きな魚の体や口の中について虫が食べ物になる。	・ホンソメワケベラと大きな魚のかわり合いについて、写真や動作化でとらえさせる。 ☆進んで課題について読みとろうとしているか。 (挙手、発言、教科書、ワークシート)

ま と め (13)	7 ホンソメワケベ ラと大きな魚のか かわり合いについ てまとめる。	・ホンソメワケベラと 大きな魚はお互いに どんなにかかわり合 いをしているか書しま しょう。	・大きな魚にとってホ ンソメワケベラは口 の中をそうじしてく れる。 ・ホンソメワケベラは 虫を食べることがで きる。 ・お互いに役に立っ ている。	・自力で考えられ ない児童にはヒ ントカードを与 える。 ☆ホンソメワケ ベラと大きな魚 のかかわり合 いについてとらえ ることができた か。(ワークシー ト)
	8 まとめの音読を する。	・一斉読み	・一斉読み	
	9 学習を振り返 る。	・今日の学習の反省を しましょう。	・ワークシートの項目 に記入する。	
	10 次時の予告をす る。			

(3) 本時の評価

評価項目	具 体 の 評 価 規 準		
	十分満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	努力を要する児童 への支援
<関心・意欲・態度> 文中の生き物の体の仕 組みやかかわり合いに 興味をもって読もうと しているか。	ホンソメワケベラの特 徴や大きな魚との かかわり合いに興味 をもち、進んで発言 しようとしたり、ワ ークシートに書いた りしている。	ホンソメワケベラの特 徴や大きな魚との かかわり合いに興味 をもち、進んでワー クシートに書こうと している。	写真を見せたり、魚 の様子を表す言葉 や文末表現に着目 させたりして支援 する。
<読むこと> ホンソメワケベラの特 徴や大きな魚との共生 の様子を正しく読みと ることができたか。	ホンソメワケベラと 大きな魚のかかわり 合いについて、お互 いに役に立つ関係で あるということをと らえてまとめている。	ホンソメワケベラと 大きな魚のかかわり 合いについて、「そう じする」「食べ物を与 える」という具体的 な行動をあげてとら えている。	ホンソメワケベラ にとってよいこと、 大きな魚にとって よいことは何かに 着目して理解する ことができるよう 助言する。

<読むこと>の評価

Aの例

大きな魚にとっては、ホンソメワケベラが体や口の中の虫をとってくれる。ホンソメワケベラにとっては、そうじしてとった虫が食べ物になる。ホンソメワケベラと大きな魚は、たがいに助け合っている。

Bの例

大きな魚にとっては、ホンソメワケベラが体や口の中の虫をとってくれる。ホンソメワケベラにとっては、そうじしてとった虫が食べ物になる。

(4) 習熟度に応じて

レディネステストの結果をもとに、「考える」段階でホンソメワケベラが大きな魚に食べられない理由を見つけられない児童には、机間指導により、わけを表している文の文末表現は「～からです。」になっていることに着目させて理由をさがせるよう支援を行う。

「まとめる」段階で課題に対するまとめを自力で考えられない児童には、ヒントカードを用いて、ホンソメワケベラが大きな魚にしてあげていること、ホンソメワケベラがそうじして食べ物を得ていることが書かれている文を提示し、それぞれの魚にとってよいことをとらえさせ、両者のかかわり合いについて理解する手助けとしたい。